

2021年3月期 決算短信 [IFRS] (連結)

2021年5月11日 上場取引所 東

上場会社名 参天製薬株式会社

4536 URL https://www.santen.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名)谷内 樹生

問合せ先責任者 (役職名) IR室 室長 (氏名) 板垣 香里 TEL 06-7664-8621 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日

決算補足説明資料作成の有無:有

決算説明会開催の有無:有(証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

コアベース

コード番号

(%表示は対前期増減率)

	売上収	益	コア営業	利益	コア当期	利益	親会社の所 帰属す コア当期	る	基本的1株当たり コア当期利益	希薄化後 1 株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2021年3月期	249, 605	3. 3	50, 101	0. 2	37, 549	4. 6	37, 589	4. 6	94. 09	93. 87
2020年3月期	241, 555	3. 2	50, 023	3. 7	35, 894	△0.5	35, 928	△0.5	90. 00	89. 76

IFRS (フル) ベース

売上収益		営業利	益	税引前当期利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	249, 605	3. 3	12, 917	△61.5	12, 418	△61.3	6, 645	△69.4	6, 830	△71.1	15, 379	△23.8
2020年3月期	241, 555	3. 2	33, 535	△25.6	32, 091	△25.6	21, 714	△32.0	23, 618	△26.1	20, 185	△31.5

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1 株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	17. 09	17. 06	2. 2	3. 1	5. 2
2020年3月期	59. 16	59. 01	8. 0	8. 0	13. 9

(2) 連結財政状態

\ \(\bullet \ \tau_{\infty} \tau_{\infty} \\ \tau_{\inft						
	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1 株当たり親会社 所有者帰属持分	
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	
2021年3月期	402, 353	307, 050	307, 585	76. 4	769. 67	
2020年3月期	408, 768	302, 560	302, 865	74. 1	758. 50	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	38, 808	△53, 355	△16, 685	62, 888
2020年3月期	39, 947	△5, 175	△12, 729	91, 430

2. 配当の状況

		配当金総額	配当性向	親会社所有者帰属持分配当率				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	(合計)	(連結)	(連結)
	円 銭	円銭	円銭	円 銭	円銭	百万円	%	%
2020年3月期	_	13. 00	_	14. 00	27. 00	10, 782	45. 6	3. 6
2021年3月期	_	14. 00	_	14. 00	28. 00	11, 192	163. 9	3. 7
2022年3月期(予想)	_	16.00	_	16.00	32. 00		41.5	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

コアベース (%表示は対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的 1 株当たり コア当期利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	260,000	4. 2	52, 000	3. 8	39,000	3. 9	98.34

IFRS (フル) ベース

	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	260, 000	4. 2	41, 500	221. 3	41, 000	230. 2	30, 500	359.0	77. 07

IFRS (フル) ベースの数値からコアベースの数値への調整内容は、添付資料P2「1. 経営成績等の概況(1)当期の経営成績の概況」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):有

新規 1社 (社名)参天(中国)投資有限公司、除外一社

(注) 特定子会社の異動には該当していませんが、当連結会計年度において、Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc. を買収したことにより、同社および同社の子会社であるEyevance Pharmaceuticals LLCを新たに連結の範囲に含めています。また、Santen Pharmaceutical Vietnam Co., Ltd. を新たに設立したため、連結の範囲に含めています。

Verily Life Sciences LLCとの合弁会社であるTwenty Twenty Therapeutics LLCを設立したため、同社を新たに持分法適用の範囲に含めています。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

2021年3月期	400, 368, 954株	2020年3月期	400, 028, 254株
2021年3月期	549, 909株	2020年3月期	608, 065株
2021年3月期	399, 455, 900株	2020年3月期	399, 157, 463株

(注) 期末自己株式数には、株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式 (2020年3月期 16,430株、2021年3月期 18,230株) が含まれています。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利:	益	経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	186, 112	1.9	23, 614	△31.4	25, 324	△27. 4	21, 754	△20.6
2020年3月期	182, 610	3. 6	34, 434	4. 8	34, 862	5. 0	27, 402	△2. 2

	1株当たり	潜在株式調整後
	当期純利益	1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	54. 44	54. 33
2020年3月期	68. 63	68. 46

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	353, 603	294, 231	83. 1	734. 61
2020年3月期	340, 007	283, 522	83. 2	708. 12

(参考)自己資本

2021年3月期

293,713百万円

2020年3月期

282,836百万円

- ※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいています。実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2021年5月12日(水)に証券アナリスト、機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1)当期の経営成績の概況	2
(2)当期の財政状態の概況	8
(3)当期のキャッシュ・フローの概況	9
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	10
(5)次期の見通し	11
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	11
3. 連結財務諸表及び主な注記	12
(1)連結純損益及びその他の包括利益計算書	12
(2)連結財政状態計算書	13
(3)連結持分変動計算書	15
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	17
(5)連結財務諸表に関する注記事項	18
(継続企業の前提に関する注記)	18
(連結財務諸表作成の基本となる重要な事項)	18
(セグメント情報等)	19
(その他の収益)	20
(その他の費用)	20
(1株当たり利益)	21
(企業結合)	22
(重要な後発事象)	24
4. 連結参考資料	25
(1)主要製品売上収益	25
(2)開発状況	26
(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費ならびに研究開発費	28
(4) 主要通貨為替レート	28

1. 経営成績等の概況

- (1) 当期の経営成績の概況
 - ① 業績の状況

(ア) コアベース※1 (P4参照)

(単位:百万円)

						前期	当期	対前期増減率
売		上	収		益	241, 555	249, 605	3.3%
コ	ア	営	業	利	益	50, 023	50, 101	0.2%
コ	ア	当	期	利	益	35, 894	37, 549	4.6%
親会	会社の ア	所 有 当	者 に 期	帰 属 [~] 利	する 益	35, 928	37, 589	4.6%

[売上収益]

前期と比べ3.3%増加し、2,496億円となりました。

主力の医療用医薬品事業は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の環境下でも堅調に推移し、前期と比べ4.5%増加し、2,347億円となりました。地域別には、日本、中国、アジアで継続的に売上伸長しています。

売上収益の内訳は次のとおりです。

上段:金額

下段:対前期増減率、()は為替影響を除いた対前期増減率

(単位:百万円)

	日本	中国	アジア	EMEA	米州	合計
医療用医薬品	155, 807	23, 275	16, 808	36, 786	2, 011	234, 687
	4. 7%	4.6%	4.3%	0.4%	173.7%	4.5%
	(-%)	(4.8%)	(5.2%)	(△2.0%)	(181.5%)	(4.2%)
一般用医薬品	9, 058	_	352	_	_	9, 410
	△22. 7%	_	12.7%	_	_	△21.8%
医療機器	2, 926	1	_	1, 110	_	4, 037
	△8.0%	_	_	230.8%	△100.0%	14.8%
その他	1, 343	72	56	_	_	1, 471
	4.8%	3.7%	△21.1%	_	_	3.4%
合 計	169, 133	23, 349	17, 216	37, 896	2, 011	249, 605
	2.5%	4.6%	4.4%	2.5%	173.5%	3.3%

(注) 外部顧客に対する売上収益を表しています。

顧客の所在地をもとに国または地域に分類しています。なお、アジアには中国を含んでいません。 EMEAは、欧州、中東およびアフリカです。

<医療用医薬品>

◇日本

前期と比べ4.7%増加し、1,558億円となりました。「アレジオン点眼液」については高濃度で効果の持続性が長い「アレジオンLX点眼液」を2019年11月に上市したこと、同年9月に田辺三菱製薬株式会社と締結した共同販売促進契約に基づく活動の効果により前期と比べ31.4%増加しました。また、当期において、「アイリーア硝子体内注射液 *2 (P4 (P4)」のプレフィルドシリンジ製剤である「アイリーア硝子体内注射用キット」を発売しました。なお、主力製品の売上は次のとおりです。

· 緑内障 · 高眼圧症治療剤領域

「タプロス点眼液」 87億円 (対前期増減率 △ 4.5%) 「タプコム配合点眼液」 26億円 (対前期増減率 + 3.3%) 「コソプト配合点眼液」 69億円 (対前期増減率 △10.1%) 「エイベリス点眼液」 25億円 (対前期増減率 +54.4%)

角結膜疾患治療剤領域

「ジクアス点眼液」 123億円 (対前期増減率 △13.8%)

*2020年の薬価改定で市場拡大再算定を受け前期と比べ減少しましたが、数量ベースでは増加しています

・抗アレルギー点眼剤領域

「アレジオン点眼液※3 (P4参照)」 327億円 (対前期増減率 +31.4%)

•網膜疾患治療剤領域

「アイリーア硝子体内注射液※2」 645億円 (対前期増減率 + 7.2%)

◇中国

円換算ベースで前期と比べ4.6%増加し(為替影響を除いた成長率は+4.8%)、233億円となりました。なお、クラビット点眼液は、当期より集中購買による影響を受けつつも、私立病院や薬局など他のチャネルでの拡販に注力しています。なお、主力製品の売上は次のとおりです。

· 角結膜疾患治療剤領域

「ヒアレイン点眼液」 93億円 (対前期増減率 +17.9%)

• 眼感染症治療剤領域

「クラビット点眼液」 79億円 (対前期増減率 △16.6%)

◇アジア (中国除く)

円換算ベースで前期と比べ4.3%増加し(為替影響を除いた成長率は+5.2%)、168億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

· 緑内障 · 高眼圧症治療剤領域

「タプロス点眼液」19億円(対前期増減率 + 0.8%)「タプコム配合点眼液」5億円(対前期増減率 +42.6%)「コソプト配合点眼液」45億円(対前期増減率 +10.1%)

円換算ベースで前期と比べ0.4%増加し(為替影響を除いた成長率は $\triangle 2.0\%$)、368億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域

「タプロス点眼液」67億円(対前期増減率 + 3.2%)「タプコム配合点眼液」29億円(対前期増減率 + 15.4%)「コソプト配合点眼液」95億円(対前期増減率 + 2.2%)「トルソプト点眼液」28億円(対前期増減率 + 4.9%)

• 角結膜疾患治療剤領域

「Ikervis (アイケルビス)」 36億円 (対前期増減率 +16.9%)

◇米州

円換算ベースで20億円となりました。なお、米州の売上収益に含まれる、第2四半期に買収したEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc. (米国)の売上収益は10億円です。

<一般用医薬品>

前期と比べ21.8%減少し、94億円となりました。

インバウンド需要の減退などにより減収となりましたが、「サンテボーティエシリーズ」、新「サンテメディカルシリーズ」、「ソフトサンティアシリーズ」などの高価格帯品に引き続き注力しています。なお、当期においては、ヒアレイン点眼液0.1%のスイッチOTC医薬品「ヒアレインS」を発売しました。

< 医療機器>

前期と比べ14.8%増加し、40億円となりました。

眼内レンズの「レンティス コンフォート」と「エタニティ」シリーズの普及促進活動に注 力しています。

<その他>

その他の売上収益は15億円となりました。サプリメント製品の販売、株式会社クレール(連結子会社)での無塵・無菌服のクリーニング業によるものです。

「コア営業利益]

売上総利益は、前期と比べ3.2%増加し、1,514億円となりました。 販売費及び一般管理費は、前期と比べ5.2%増加し、772億円となりました。 研究開発費は、前期と比べ3.3%増加し、241億円となりました。

以上により、コアベースでの営業利益は、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響で経営環境が不安定な状況下であっても、前期と比べ0.2%増加し、501億円となりました。

- ※1 Santenグループでは2015年3月期のIFRS適用を機に、IFRSによる業績(「IFRS(フル)ベース」)から一部の収益および費用を控除した「コアベース」での財務情報を経常的な業績を示す指標として開示しています。IFRS(フル)ベースによる業績からコアベースでの業績への調整において控除する以下の収益および費用とそれらに係る法人所得税費用を調整し、コアベースを算出しています。
 - ・製品に係る無形資産償却費
 - ・その他の収益
 - ・その他の費用
 - 金融収益
 - 金融費用
 - ・持分法による投資損益
 - ・販売費及び一般管理費のうち企業買収などに係る一過性費用
- ※2 製造販売元であるバイエル薬品株式会社とのコ・プロモーション製品です。
- ※3 アレジオンLX点眼液を含みます。

(イ) IFRS (フル) ベース

(単位:百万円)

				前期	当期	対前期増減率
売	上	収	益	241, 555	249, 605	3.3%
営	業	利	益	33, 535	12, 917	△61.5%
当	期	利	益	21, 714	6, 645	△69. 4%
親会当	社の所有期	者 に 帰 属 利	する益	23, 618	6, 830	△71.1%

[売上収益]

コアベースからの調整はありません。

「営業利益]

売上総利益について、コアベースからの調整はありません。

IFRS (フル) ベースの販売費及び一般管理費は、前期と比べ8.4%増加し、796億円となりました。コアベースの販売費及び一般管理費に加え、Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc. (米国)の買収および統合業務、ならびに、持株会社体制への移行・決算期の変更に係る一過性の費用等が24億円発生しました。

研究開発費は、コアベースからの調整はありません。

製品に係る無形資産償却費は、前期と比べ0.2%増加し、99億円となりました。これは主に、Merck & Co., Inc. (米国) から2014年に譲り受けた眼科製品に関する無形資産、2015年より欧州で販売を開始した「Ikervis (アイケルビス)」に関する無形資産、ならびに2016年のInnFocus, Inc. (米国)買収に伴い取得したSTN2000100 (DE-128、PRESERFLO MicroShunt)に関する無形資産 (2019年4月より償却開始)の償却によるものです。

その他の収益は、160億円となりました。これは主に、STN2000100 (DE-128、PRESERFLO MicroShunt)を開発するInnFocus, Inc. (米国) 買収時に負債計上した条件付対価の公正価値 (時間的価値以外) について、米国における承認時期の遅延を前提に見直しを行った結果、帳簿価額が変動したことによるもの (戻入益) です。

その他の費用は、409億円となりました。これは主に、InnFocus, Inc. (米国) に係る無形資産 (のれんおよび開発製造販売権) について、米国における承認時期の遅延を前提に資産価値の見直 しを行った結果、帳簿価額を回収可能価額まで減損したことによるものです。

これらにより、IFRS (フル) ベースの営業利益は、前期と比べ61.5%減少し、129億円となりました。

[当期利益]

金融収益は、13億円となりました。これは主に、保有する投資有価証券に係る受取配当金によるものです。

金融費用は、15億円となりました。これは主に、InnFocus, Inc. (米国) 買収に伴う条件付対価の公正価値変動額のうち時間的価値の変動によるものです。

持分法による投資損失は、4億円となりました。これはVerily Life Sciences LLC(米国)との合弁会社であるTwenty Twenty Therapeutics LLC(米国)の損益のうち、当社の持分に帰属する金額を計上したものです。

法人所得税費用は、前期より46億円減少し、58億円となりました。これは主に、試験研究費の税額控除適用額の増加に伴う当期税金費用の減少、開発製造販売権の減損損失計上に伴う繰延税金負債の取り崩し、および上述のIFRS(フル)ベースの営業利益の減少に伴う税引前当期利益の減少によるものです。

これらにより、当期利益は、前期と比べ69.4%減少し、66億円となりました。

[親会社の所有者に帰属する当期利益]

親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期と比べ71.1%減少し、68億円となりました。売上収益に対するその比率は、2.7%となりました。

② 研究開発活動

<緑内障・高眼圧症領域>

プロスタグランジン F_2 α 誘導体および β 遮断剤の配合剤STN1011101(DE-111A、一般名:タフルプロスト/チモロールマレイン酸塩)は、中国で2019年1月に第 \blacksquare 相試験を開始しました。

EP2受容体作動薬STN1011700 (DE-117、一般名:オミデネパグ イソプロピル)は、米国で2020年11月に販売承認を申請しました。日本では2018年11月に発売しました。アジアでは、順次販売承認を申請しており、韓国で2021年2月に発売しました。

FP/EP3受容体デュアル作動薬STN1012600 (DE-126、一般名:sepetaprost) は、米国で2020年12月に追加の第 Π 相試験を開始しました。日本では、後期第 Π 相試験を完了しています。

緑内障用デバイスSTN2000100 (DE-128) は、米国で2020年6月に市販前承認 (PMA) の段階的申請を完了し、2021年2月末に米国食品医薬品局 (FDA) から審査に関するフィードバックを受け、以降協議を実施しています。欧州では、2019年4月に発売しました。韓国で2020年3月に販売承認を申請以降、アジアで順次申請しています。カナダで、2021年3月に販売承認を取得しました。

プロスタグランジン $F_2\alpha$ 誘導体の乳化点眼剤STN1013001 (DE-130A、一般名: ラタノプロスト) は、欧州およびアジアで2019年4月に第III相試験を開始しました。

ROCK阻害剤STN1013900 (AR-13324、一般名: netarsudil dimesylate) は、日本で2020年11月に第Ⅲ相試験を開始しました。

<角結膜疾患(ドライアイを含む)領域>

ドライアイを対象とするSTN1008903 (DE-089C、一般名:ジクアホソルナトリウム) は、日本で第Ⅲ相試験を終了しました。

<網膜・ぶどう膜疾患領域>

ぶどう膜炎を対象とするSTN1010900 (DE-109、一般名:シロリムス) は、米国で2018年12月 に追加の第Ⅲ相試験を開始しました。

<その他疾患領域>

近視を対象とするSTN1012700(DE-127、一般名:アトロピン硫酸塩)は、アジアで2020年4月に第 Π 相試験を終了しました。日本では、2019年8月に第 Π / Π 相試験を開始しました。

白内障手術後無水晶体眼に挿入する乱視用(トーリック)眼内レンズMD-16は、日本で2020年11月に発売しました。

※開発コードの附番方法変更に伴い、新開発コード (STNXXXXXXXX) および既存開発コード (DE -XXX) を併記しています。なお、AR-13324はAerie Pharmaceuticals, Inc.での開発コードです。

③ 設備投資

当期の設備投資額は、113億円となりました。拡大を続ける需要に対し、安定供給のための生産能力確保を目的として、滋賀プロダクトサプライセンター敷地内に医療用点眼薬製造棟の増設、ならびに中国の現地法人「参天製薬(中国)有限公司」の新工場にかかる投資を開始しました。今後、見込まれる市場成長に対し、早期にキャパシティを構築することで、グローバルでの競争優位を確立し、さらなる事業の成長に繋げていきます。また、事業のグローバル展開を支え、業務標準化と抜本的な生産性効率の向上を目的として、次世代ERPへの投資等を継続しています。

(2) 当期の財政状態の概況

資産は、4,024億円となりました。Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc. (米国)の買収等に伴う無形資産の増加、営業債権及びその他の債権の増加などの一方、緑内障用デバイスSTN2000100 (DE-128、PRESERFLO MicroShunt)の米国における承認時期の遅延を背景とした、同製品を開発するInnFocus, Inc. (米国)に係る無形資産(のれんおよび開発製造販売権)の減損に伴う無形資産の減少、現金及び現金同等物の減少などにより前期末と比べ64億円減少しました。

資本は、3,071億円となりました。利益剰余金の減少などがあった一方、その他の資本の構成要素の増加などにより前期末と比べ45億円増加しました。

負債は、953億円となりました。営業債務及びその他の債務の増加などがあった一方、InnFocus, Inc. (米国)買収に伴う条件付対価の公正価値の変動および支払による金融負債の減少などにより前期末と比べ109億円減少しました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前期末と比べ2.3ポイント増加し、76.4%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは、388億円の収入(前期は、399億円の収入)となりました。主に当期利益が66億円、InnFocus, Inc. (米国)に係る無形資産の減損等に伴う減損損失407億円、InnFocus, Inc. (米国)買収に伴う条件付対価の公正価値の変動および支払等による長期未払金の減少173億円、減価償却費及び償却費168億円、法人所得税の支払128億円、営業債権及びその他の債権の増加75億円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、534億円の支出(前期は、52億円の支出)となりました。主にEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc. (米国)の買収に伴う子会社株式の取得による支出238億円、jCyte, Inc. (米国)とのライセンス契約に伴う無形資産の取得による支出55億円およびAerie Pharmaceuticals, Inc. (米国)とのライセンス契約に伴う無形資産の取得による支出52億円などの無形資産の取得による支出197億円によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、167億円の支出(前期は、127億円の支出)となりました。主に配当金の支払い112億円によるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当期末残高は、前期末と比べ285億円減少し、629億円となりました。

(参考) キャッシュ・フロー指標のトレンド

	2020年3月期	2021年3月期
親会社所有者帰属持分比率	74.1%	76.4%
時価ベースの親会社所有者帰属持分比率	181.6%	151.2%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	30.9%	26.1%
インタレスト・カバレッジ・レシオ	210. 1倍	244. 6倍

(注) 親会社所有者帰属持分比率 : 親会社所有者帰属持分/資産

時価ベースの親会社所有者帰属持分比率:株式時価総額/資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/キャッシュ・フロー インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー/利払い

- ※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しています。
- ※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しています。なお、控除する自己株式には、株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式は含んでいません。
- ※キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しています。有利子負債は連結財政状態計算書上に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。また、利払いは連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しています。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

① 利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要事項と位置付け、中長期的な事業環境や資金需要と内部留保の水準、ならびに資本構成等を総合的に勘案し、配当を中心に、自己株式取得を補完的な手段として還元することを基本としています。

内部留保につきましては、将来成長のために研究開発、事業開発、設備投資などに資源を投下していきます。

なお、当社は、定款において中間配当を行う旨を定めており、2006年5月1日の会社法施行後の配当につきましても、従来どおりの中間期末日、期末日を基準とした年2回の配当を継続する予定です。中間配当につきましては取締役会、期末配当につきましては株主総会が、配当の決定機関となります。

② 当期の配当

2021年6月に開催予定の第109期定時株主総会での承認を条件に、期末配当金を1株当たり14円とさせて頂く予定です。すでに実施済みの中間配当金と合わせて、年間配当金は1株当たり28円、配当性向は163.9%となります。

③ 次期の配当

次期の利益配当金は、中間配当1株当たり16円、期末配当1株当たり16円の年間32円、当期利益に対して配当を通じた株主のみなさまへの利益還元を示す配当性向は41.5%を予想しています。

(5) 次期の見通し

コアベースおよびIFRS (フル)ベースでの次期の見通しは次のとおりです。

<コアベース>

(単位:百万円)

						当期	次期	対前期増減率
売		上	収 益		収益		260,000	4.2%
コ	ア	営	業	利	益	50, 101	52,000	3.8%
コ	ア	当	期	利	益	37, 549	39,000	3.9%

<IFRS (フル) ベース>

(単位:百万円)

				当期	次期	対前期増減率
売	上	収	益	249, 605	260,000	4.2%
営	業	利	益	12, 917	41,500	221.3%
当	期	利	益	6, 645	30, 500	359.0%
親会当	社の所有: 期	者に帰属 利	引する 益	6,830	30, 800	350.9%

売上収益は2,600億円、対前期4.2%増を予想しています。これは、国内事業は、薬価改定の影響を受けつつも引き続き堅調に推移する見通しに加え、海外事業は、中国、アジアおよびEMEAの成長に加え、当期に買収したEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc. (米国)の商業基盤をもとにした米国への本格参入によるものです。販売費及び一般管理費は810億円、対前期5.0%増、また、研究開発費は260億円、対前期7.8%増を予想しています。会社の経常的な収益力を示すコア営業利益は、520億円と対前期3.8%増を見込んでいます。将来成長のための資源投下の継続と引き続き費用コントロールの強化を行うことによる経常的費用支出の抑制の両立をはかることで、持続的な利益成長を確保することを目指します。

IFRS (フル) ベースについては、営業利益は415億円、対前期221.3%増を予想しています。これは主に、当期はInnFocus, Inc. (米国) に係る条件付対価の公正価値変動額の戻入益152億円および無形資産(のれんおよび開発製造販売権)の減損損失403億円により一過性の収益と費用が発生しましたが、次期は発生しない想定によるものです。当期利益は305億円、対前期359.0%を予想しています。これは主に、営業利益の増益に加え、当期はInnFocus, Inc. (米国) に係る一過性の収益と費用の会計処理に伴い負担税率が上昇しましたが、次期は一過性の要因が発生しない想定に基づき低下を見込んでいることによるものです。

業績見通しの前提となる為替レートについては、1 USドル=105円、1 ユーロ=125円、1 中国元=16.5円を想定しています。

また、上記の業績予想は現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績は、事業環境の変化など様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

Santenグループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性および利便性の向上を図るため、2015年3月期より国際会計基準 (IFRS) を適用しています。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結純損益及びその他の包括利益計算書

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日	当連結会計年度 (自 2020年4月1日
	至 2020年3月31日)	至 2021年3月31日)
売上収益	241, 555	249, 605
売上原価	△94, 831	△98, 221
売上総利益	146, 724	151, 384
販売費及び一般管理費	△73, 360	△79, 554
研究開発費	△23 , 341	△24, 112
製品に係る無形資産償却費	△9, 898	△9, 920
その他の収益	390	16, 007
その他の費用	△6, 980	△40, 889
営業利益	33, 535	12, 917
金融収益	950	1, 346
金融費用	$\triangle 2,393$	△1, 488
持分法による投資損失	_	$\triangle 358$
税引前当期利益	32, 091	12, 418
法人所得税費用	△10, 377	△5, 773
当期利益	21, 714	6, 645
その他の包括利益		-,
純損益に振り替えられない項目:		
確定給付制度の再測定	△253	1, 573
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する	0.000	45
金融資産の純変動	2, 696	45
純損益に振り替えられる可能性のある項目:		
在外営業活動体の換算差額	$\triangle 3,972$	7, 116
その他の包括利益	△1, 529	8, 734
当期包括利益合計	20, 185	15, 379
当期利益の帰属		
親会社の所有者持分	23, 618	6, 830
非支配持分	$\triangle 1,904$	△185
当期利益	21, 714	6, 645
当期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者持分	22, 162	15, 609
非支配持分	△1, 977	$\triangle 230$
当期包括利益合計	20, 185	15, 379
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	59. 16	17. 09
希薄化後1株当たり当期利益(円)	59. 01	17. 06
<コアベース>		
売上収益	241, 555	249, 605
コア営業利益	50, 023	50, 101
コア当期利益	35, 894	37, 549
基本的1株当たりコア当期利益(円)	90.00	94. 09
希薄化後1株当たりコア当期利益(円)	89. 76	93. 87
コア当期利益の帰属		
親会社の所有者持分	35, 928	37, 589
非支配持分	△34	△40
コア当期利益	35, 894	37, 549
·		01,010

(2)連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	35, 601	39, 489
無形資産	119, 850	112, 876
金融資産	30, 848	31, 903
退職給付に係る資産	_	1,619
持分法で会計処理されている投資	_	5, 162
繰延税金資産	2, 100	2, 824
その他の非流動資産	1, 813	2, 249
非流動資産合計	190, 212	196, 122
流動資産		
棚卸資産	35, 282	41, 575
営業債権及びその他の債権	86, 999	95, 992
その他の金融資産	452	527
その他の流動資産	4, 392	5, 248
現金及び現金同等物	91, 430	62, 888
流動資産合計	218, 556	206, 231
資産合計	408, 768	402, 353

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	8, 366	8, 525
資本剰余金	8,746	8, 954
自己株式	△1,033	△934
利益剰余金	273, 422	270, 757
その他の資本の構成要素	13, 364	20, 283
親会社の所有者に帰属する持分合計	302, 865	307, 585
非支配持分	△305	△535
資本合計	302, 560	307, 050
負債		
非流動負債		
金融負債	27, 592	10, 141
退職給付に係る負債	1, 738	1, 210
引当金	570	600
繰延税金負債	7, 228	3, 290
その他の非流動負債	1, 483	1, 514
非流動負債合計	38, 611	16, 754
流動負債		
営業債務及びその他の債務	32, 578	38, 106
その他の金融負債	18,777	23, 739
未払法人所得税等	6, 848	5, 458
引当金	633	819
その他の流動負債	8, 761	10, 428
流動負債合計	67, 597	78, 549
負債合計	106, 208	95, 303
資本及び負債合計	408, 768	402, 353

(3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

					その他の資ス	本の構成要素
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	確定給付制度の再測定	そ 括 し の 他 が を 正 で で 測 変 融 変 の 純 変 の が の の で の で の で の を 正 に で の を の が の の が の の が の が の の の の の の の の の の の の の
2019年4月1日残高	8, 252	8, 661	△1, 131	258, 659	_	10, 230
当期包括利益						
当期利益				23, 618		
その他の包括利益					△253	2, 696
当期包括利益合計	_	_	_	23, 618	△253	2, 696
所有者との取引額						
新株の発行	114	114				
自己株式の取得			$\triangle 22$			
自己株式の処分		△85	121			
配当金				△10, 379		
株式報酬取引		56				
その他				1, 523	253	△1, 776
所有者との取引額合計 	114	85	99	△8, 856	253	△1,776
2020年3月31日残高	8, 366	8, 746	△1,033	273, 422		11, 150

	その伯	也の資本の構成	要素	親会社の		
	在外営業 活動体の 換算差額	新株予約権	合計	所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2019年4月1日残高	5, 428	802	16, 461	290, 900	1, 672	292, 572
当期包括利益						
当期利益			_	23, 618	△1, 904	21, 714
その他の包括利益	△3, 899		$\triangle 1,457$	$\triangle 1,457$	$\triangle 73$	△1, 529
当期包括利益合計	△3, 899	_	△1, 457	22, 162	△1, 977	20, 185
所有者との取引額						
新株の発行		△117	△117	112		112
自己株式の取得			_	$\triangle 22$		$\triangle 22$
自己株式の処分			_	35		35
配当金			_	△10, 379		△10, 379
株式報酬取引			_	56		56
その他			△1,523	_		_
所有者との取引額合計	_	△117	△1,640	△10, 198	_	△10, 198
2020年3月31日残高	1, 529	686	13, 364	302, 865	△305	302, 560

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

					その他の資ス	ドの構成要素
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	確定給付制度の再測定	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産 の純変動
2020年4月1日残高	8, 366	8, 746	△1,033	273, 422	_	11, 150
当期包括利益						
当期利益				6,830		
その他の包括利益					1, 573	45
当期包括利益合計		_	_	6, 830	1, 573	45
所有者との取引額						
新株の発行	160	160				
自己株式の取得			$\triangle 4$			
自己株式の処分		$\triangle 20$	102			
配当金				△11, 187		
株式報酬取引		68				
その他				1, 692	△1, 573	△119
所有者との取引額合計	160	208	98	△9, 495	△1, 573	△119
2021年3月31日残高	8, 525	8, 954	△934	270, 757	_	11, 075

	その作	也の資本の構成	要素	親会社の		
	在外営業 活動体の 換算差額	新株予約権	合計	所有者に 帰属する 持分合計		資本合計
2020年4月1日残高	1, 529	686	13, 364	302, 865	△305	302, 560
当期包括利益						
当期利益			_	6,830	△185	6, 645
その他の包括利益	7, 161		8,778	8,778	$\triangle 45$	8, 734
当期包括利益合計	7, 161	_	8, 778	15, 609	△230	15, 379
所有者との取引額						
新株の発行		$\triangle 167$	$\triangle 167$	152		152
自己株式の取得			_	$\triangle 4$		$\triangle 4$
自己株式の処分			_	82		82
配当金			_	△11, 187		△11, 187
株式報酬取引			_	68		68
その他			$\triangle 1,692$	_		_
所有者との取引額合計	_	△167	△1,859	△10,888	_	△10, 888
2021年3月31日残高	8, 689	518	20, 283	307, 585	△535	307, 050

				(平位:日2711)
	Ē	前連結会計年度	<u> </u>	当連結会計年度
	(自	2019年4月1日	(自	2020年4月1日
	至	2020年3月31日)	至	2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー				
当期利益		21,714		6, 645
減価償却費及び償却費		16, 573		16, 768
減損損失		5, 825		40, 664
持分法による投資損益(△は益)		_		358
金融収益及び金融費用(△は益)		$\triangle 592$		△609
法人所得税費用		10, 377		5, 773
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)		$\triangle 3,054$		$\triangle 7,514$
棚卸資産の増減(△は増加)		△981		$\triangle 4,590$
営業債務及びその他の債務の増減 (△は減少)		717		4, 948
引当金及び退職給付に係る負債の増減(△は減少)		△1, 242		$\triangle 176$
未払金の増減(△は減少)		1, 305		3, 199
長期未払金の増減(△は減少)		1, 279		△17, 344
その他		1,584		2, 993
小計		53, 506		51, 115
利息の受取額		200		195
配当金の受取額		581		490
利息の支払額		△190		△159
法人所得税の支払額		△14, 149		△12, 834
営業活動によるキャッシュ・フロー	-	39, 947		38, 808
投資活動によるキャッシュ・フロー				
投資の取得による支出		△398		△3, 384
投資の売却による収入		3, 503		3, 070
子会社株式の取得による支出		_		△23, 834
持分法で会計処理されている投資の取得による支出		_		△5, 349
有形固定資産の取得による支出		△5, 824		△4, 139
無形資産の取得による支出		△3, 404		\triangle 19, 665
その他		949		△55
投資活動によるキャッシュ・フロー	-	△5, 175		△53, 355
財務活動によるキャッシュ・フロー	-			
長期借入れによる収入		1, 477		307
長期借入金の返済による支出		△500		△3,000
配当金の支払額		△10, 379		△11, 188
リース負債の返済による支出		△2, 859		△2, 952
その他		△469		148
財務活動によるキャッシュ・フロー	-	△12, 729		△16, 685
現金及び現金同等物の増減額		22, 044		△31, 232
現金及び現金同等物の期首残高		70, 796		91, 430
現金及び現金同等物の為替変動による影響		$\triangle 1,410$		2,690
現金及び現金同等物の期末残高		91, 430		62, 888
<u> </u>		71, 100		02,000

(5)連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成の基本となる重要な事項)

1. 作成の基礎

(1) IFRSに準拠している旨

Santenグループは、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号)第1条の2に規定される「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定により、連結財務諸表をIFRSに準拠して作成しています。

(2) 測定の基礎

Santenグループの連結財務諸表は、公正価値で測定する金融商品等を除いて取得原価を基礎として作成しています。

(3)機能通貨及び表示通貨

Santenグループの連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨とし、百万円未満を四捨五入により表示しています。

2. 重要な会計方針

Santenグループが連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

(セグメント情報等)

1.報告セグメントの概要

Santenグループは、単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しています。

2. 製品及びサービスごとの情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	医療用医薬品	一般用医薬品	医療機器	その他	計
外部顧客への売上収益	224, 584	12,034	3, 515	1, 422	241, 555

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	医療用医薬品	一般用医薬品	医療機器	その他	計
外部顧客への売上収益	234, 687	9, 410	4, 037	1, 471	249, 605

3. 地域ごとの情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	中国	アジア	EMEA	米州	計
外部顧客への 売上収益(注) 1	165, 024	22, 321	16, 496	36, 979	735	241, 555
非流動資産 (注) 2	100, 173	5, 202	792	8, 818	42, 279	157, 264

- (注)1 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。なお、アジアには中国を含んでいません。
 - 2 非流動資産は資産の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。また、金融資産および繰延税金資産を含んでいません。なお、米州の非流動資産の所在地は米国です。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

	日本	中国	アジア	EMEA	米州	計
外部顧客への 売上収益(注) 1	169, 133	23, 349	17, 216	37, 896	2, 011	249, 605
非流動資産 (注) 2	92, 030	7, 245	637	15, 373	39, 330	154, 615

- (注)1 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。なお、アジアには中国を含んでいません。
 - 2 非流動資産は資産の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。また、持分法で会計処理されている投資、金融資産、退職給付に係る資産および繰延税金資産を含んでいません。なお、米州の非流動資産の所在地は米国であり、Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc. およびEyevance Pharmaceuticals LLC取得に関するのれんの暫定的な金額が含まれています。

4. 主要な顧客ごとの情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

顧客の名称又は氏名	売上収益
株式会社スズケン	46, 984
株式会社メディセオ	33, 263

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

顧客の名称又は氏名	売上収益
株式会社スズケン	49, 137
株式会社メディセオ	35, 727

(その他の収益)

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

InnFocus, Inc. (米国) 買収に伴う条件付対価の公正価値の変動額15,223百万円をその他の収益に計上しています。条件付対価は、STN2000100 (DE-128、PRESERFLO MicroShunt) の開発の進捗および販売実績に応じたマイルストンであり、その公正価値は、主に開発成功確率および将来販売計画を基に算定しています。当社は、米国において2020年6月に市販前承認 (PMA) 申請を行ったSTN2000100 (DE-128、PRESERFLO MicroShunt) について、2021年2月末に米国食品医薬品局 (FDA) から審査に関するフィードバックを受け、以降協議を実施しています。今後、協議に時間がかかる可能性も考えられることから、開発成功確率および将来販売計画は、2021年度上期を想定していた米国における承認時期の遅延を前提に見直しています。

(その他の費用)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

前連結会計年度に認識した減損損失5,825百万円をその他の費用に計上しています。

その分類は、有形固定資産に係る減損損失3,667百万円および無形資産に係る減損損失2,158百万円です。有形固定資産に係る減損損失3,667百万円は、当社の連結子会社である重慶参天科瑞製薬有限公司(中国)が保有する現在建設中の工場(主に建設仮勘定)について、想定されていた収益が見込めなくなったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額したものです。なお、回収可能価額は処分費用控除後の公正価値(売却予定価額等)により測定しており、当該公正価値のヒエラルキーはレベル3です。

無形資産に係る減損損失2,158百万円は、当社が保有するTRACON Pharmaceuticals, Inc. (米国) と開発を進めていた滲出型加齢黄斑変性の治療薬DE-122に係る無形資産について、開発中止に伴い収益が見込めなくなったため、帳簿価額を全額減損したものです。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

当連結会計年度に減損損失40,664百万円を認識し、その他の費用に計上しています。

その主な内容は、STN2000100(DE-128、PRESERFLO MicroShunt)に係る無形資産および同製品を開発するInnFocus, Inc. (米国)に係るのれんの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、無形資産に係る減損損失40,312百万円(製品に係る無形資産24,628百万円、のれん15,684百万円)を認識したことによるものです。この回収可能価額は、使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローを適切な割引率で割り引いて算定しています。将来キャッシュ・フローは当社が米国において2020年6月に市販前承認(PMA)申請を行ったSTN2000100(DE-128、PRESERFLO MicroShunt)について、2021年2月末に米国食品医薬品局(FDA)から審査に関するフィードバックを受け、以降協議を実施しており、今後、協議に時間がかかる可能性も考えられることから、2021年度上期を想定していた米国における承認時期の遅延を前提に見直した開発成功確率および事業計画を基に見積りをしています。

(1株当たり利益)

基本的1株当たり当期利益および希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 2019年4月1日	(自 2020年4月1日
	至 2020年3月31日)	至 2021年3月31日)
基本的1株当たり当期利益の算定上の基礎		
親会社の所有者に帰属する当期利益(百万円)	23, 618	6, 830
親会社の普通株主に帰属しない当期利益(百万円)	2	4
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	23, 616	6, 826
期中平均普通株式数(千株)	399, 157	399, 456
希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎		
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	23, 616	6, 826
当期利益調整額 (百万円)	2	4
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	23, 618	6, 830
期中平均普通株式数 (千株)	399, 157	399, 456
株式報酬取引による普通株式増加数(千株)	1,095	931
希薄化効果調整後期中平均普通株式数 (千株)	400, 253	400, 387
1株当たり当期利益(親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり当期利益(円)	59. 16	17. 09
希薄化後1株当たり当期利益(円)	59. 01	17. 06

⁽注) 1株当たり情報の算定において、株式報酬制度に係る信託が保有する自社の株式を自己株式として処理していることから、期中平均普通株式数から当該株式数を控除しています。

(企業結合)

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(1) 企業結合

(Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.およびEyevance Pharmaceuticals LLCの取得)

- ① 企業結合の概要
 - (a) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称: Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.

Eyevance Pharmaceuticals LLC

事業の内容: 最適な視力とより高いQOL(生活の質)実現に向けた、革新的でイ

ンパクトのある点眼用眼科製品の開発・販売

(b) 企業結合を行った理由

Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc. (米国) およびEyevance Pharmaceuticals LLC (米国) は、眼表面および前眼部の領域において、点眼薬の開発・販売を行っており、現在は、抗炎症、抗アレルギー、抗真菌、涙液の潤滑のための点眼薬、および抗菌と抗炎症の配合点眼薬を提供しています。また、米国全土の眼科医、検眼医、アレルギーを専門とする医師を対象とした同社のナショナルセールスチームが、その販売活動を担っています。

Santenグループは、本買収を通じて、米国での事業基盤を早期に確立し、より多くの 患者さんのニーズに真摯に向き合い、さらなる価値を提供します。同時に、米国へのア クセス、そしてプレゼンスを獲得することで、グローバルにおける事業展開を加速さ せ、眼科医療への一層の貢献とさらなる成長を目指します。

(c) 取得日

2020年9月16日 (米国時間)

(d) 被取得企業の支配の獲得方法

現金を対価としてEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc. の発行済株式の100%を取得しています。

(e) 取得した議決権付資本持分割合

100%

② 取得資産及び引き受けた負債の認識金額並びに取得対価の取得日公正価値

(単位:百万円)

	金額
非流動資産	4, 433
流動資産	838
現金及び現金同等物	1,099
非流動負債	△203
流動負債	△564
のれん	19, 330
合計	24, 933
現金	24, 933
取得対価合計	24, 933

これらの金額は、連結財務諸表の作成時点において、評価検証が未了のため、暫定的な金額で報告しています。

当該企業結合に係る取得関連費用として853百万円を「販売費及び一般管理費」に計上しています。

③ キャッシュ・フロー情報

(単位:百万円)

	(十四・日2013)
	金額
支払対価の公正価値の合計	24, 933
被取得企業が保有する現金及び現金同等物	△1,099
子会社株式の取得による支出	23, 834

④ Santenグループの業績に与える影響

連結純損益及びその他の包括利益計算書に含まれる取得日以降にEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.およびEyevance Pharmaceuticals LLCから生じた損益は以下のとおりです。

売上収益: 988百万円 当期利益: △1,221百万円

なお、当該企業結合が期首に実施されたと仮定した場合の当連結会計年度の連結純損益 及びその他の包括利益計算書に与える影響額は以下のとおりです。

売上収益: 1,740百万円 当期利益: △2,902百万円

(重要な後発事象)

単独株式移転による持株会社体制への移行および決算期(事業年度の末日)の変更の延期 当社は、2022年4月1日を目途に持株会社体制への移行、ならびに2022年1月1日付での決算期 (事業年度の末日)変更(以下、「本件」)を予定していましたが、2021年5月11日開催の取締役 会において、延期することを決議しました。

1. 本件延期の理由

当社は、長期ビジョンを着実に実行すべく、地域軸・事業軸ともに広がりつつある事業群を機動的に東ね、スピーディで効率的な戦略実行を可能とする経営・組織体制の構築・強化を目的に、本件に関する準備を進めてきました。しかしながら、STN2000100(DE-128、PRESERFLO MicroShunt)の開発状況等に起因する減損損失の計上を機に、経営環境の短期的変化等を総合的に勘案した結果、当面、現行の法人体制および決算期を変更することなく、足元の業績の着実な成長、ならびに次期中期経営計画に沿った事業価値最大化に経営資源を集中させることが適切であると判断し、本件を延期することといたしました。

本件の新たな実施時期については、経営環境等を踏まえ引き続き検討していきます。また、現行の枠組みの中で、事業および組織のグローバル化、グループガバナンスの強化は引き続き推進していきます。

2. 業績に与える影響

本件が翌連結会計年度の業績に与える影響は軽微です。

4. 連結参考資料

(1) 主要製品売上収益

	i								
品目名	薬効領域	地域	-		·	, , .			
(有効成分・剤形)	70704	_ ,.	通期実績	対前年伸長率	通期予想	対前年伸長率			
		合計	12,650	△16. 7%	12, 147	△4.0%			
クラビット点眼液	合成抗菌点眼剤	日本 中国	1, 971 7, 927	$\triangle 23.3\%$ $\triangle 16.6\%$	1, 592 7, 859	△19. 3% △0. 9%			
(レボフロキサシン点眼液)		アジア	1,722	$\triangle 0.2\%$	1, 786	3. 7%			
		EMEA	1,029	△25.1%	910	△11.6%			
to 11 vo. 10 to HII Ode		合計	1, 427	△3.1%	1, 215	△14. 9%			
タリビッド点眼液 (オフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	日本 中国	337 683	△18.6% 16.8%	279 688	△17. 3% 0. 7%			
		アジア	406	△14.1%	247	△39. 2%			
タプコム配合点眼液		合計	6,036	11.7%	6, 566	8.8%			
(タフルプロスト/	緑内障治療剤	日本	2,604	3.3%	2, 403	△7. 7%			
チモロールマレイン酸塩点眼液)		アジア EMEA	546 2, 886	42. 6% 15. 4%	763 3, 399	39. 8% 17. 8%			
		合計	17, 915	0.1%	20, 564	14. 8%			
タプロス点眼液		日本	8,709	△4.5%	8, 738	0.3%			
(タフルプロスト点眼液)	禄 内 障 治 療 剤	中国	602	52.4%	2, 788	362. 8%			
		アジア EMEA	1, 907 6, 696	0. 8% 3. 2%	2, 105 6, 933	10. 4% 3. 5%			
		合計	20,877	△0.8%	19, 597	△6. 1%			
コソプト配合点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩/	禄 内 障 治 療 剤	日本	6,940	△10.1%	5, 173	△25. 5%			
チモロールマレイン酸塩点眼液)		アジア	4, 462	10.1%	4,778	7. 1%			
. ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		EMEA 合計	9, 475 2, 196	2.2%	9, 646 1, 859	1. 8% △15. 3%			
チモプトール点眼液	42 L ** V L	日本	2, 196 1, 137	△12.3% △15.7%	789	$\triangle 15.3\%$ $\triangle 30.6\%$			
(チモロールマレイン酸塩点眼液) (* チモプトールXE点眼液を含む)	禄 内 障 治 療 剤	アジア	264	17. 2%	294	11. 1%			
(* プモント ルALAIM(校を音句)		EMEA	794	△14.5%	777	△2. 2%			
トルソプト点眼液		合計	4, 365	△1.3%	3, 862	△11. 5%			
ドルノノト点眼似 (ドルゾラミド塩酸塩点眼液)	緑内障治療剤	日本 アジア	1, 227 344	$\triangle 9.1\%$ $\triangle 16.2\%$	1, 009 308	△17.8% △10.7%			
		EMEA	2,794	4. 9%	2,546	△8.9%			
エイベリス点眼液	緑内障治療剤	合計	2,536	55.7%	3, 696	45. 7%			
(オミデネパグ イソプロピル点眼液)	77 17 14 16 /// ///	日本	2,516	54.4%	3,612	43.6%			
アレジオン点眼液 (エピナスチン塩酸塩点眼液)	抗アレルギー点眼剤	合計 日本	32, 752 32, 733	31.5% 31.4%	32, 368 32, 225	△1. 2% △1. 6%			
(* アレジオンLX点眼液を含む)	1)L) P) V (MARAN	アジア	19		143	663. 1%			
		合計	2,812	△6.2%	2, 961	5. 3%			
フルメトロン点眼液	抗炎症点眼剤	日本	1,052	△17.3%	924	△12. 1%			
(フルオロメトロン点眼液)		中国 アジアー	1, 392 368	12. 0% △23. 5%	1, 676 361	20. 4% △1. 9%			
101 12 North Annual Control of the Part Contro		合計	3,995	△1.5%	4,025	0. 7%			
ピレノキシン懸濁性点眼液 (旧販売名:カリーユニ点眼液)	老人性白内障治療剤	日本	2, 391	△4.4%	2, 354	△1.5%			
(ピレノキシン点眼液)	一	中国	771	9.6%	717	△7. 1%			
Oftan Catachrom(オフタンカタクロム)		アジア合計	1,830	△2.3% △18.3%	954 1, 767	14. 6% △3. 5%			
(チトクロームC/アデノシン/	老人性白内障治療剤								
ニコチンアミド含有点眼液)		EMEA	1,830	△18.3%	1, 767	△3. 5%			
ヒアルロン酸Na眼粘弾剤 (旧販売名:オペガンハイ眼粘弾剤)	眼科手術補助剤	合計	2, 189	△18.1%	2, 414	10. 3%			
(ヒアルロン酸ナトリウム眼科手術補助剤)	版 行 于 的 冊 好 別	日本	2, 189	△18.1%	2, 414	10.3%			
アイリーア硝子体内注射液		合計	64, 454	7.2%	65, 038	0.9%			
(アフリベルセプト(遺伝子組換え)	眼科用VEGF阻害剤	日本	64, 454	7. 2%	65, 038	0. 9%			
硝子体内注射液)		合計	18, 420	4. 6%	14, 932	△18. 9%			
ヒアレイン点眼液	女 体 味 庄 由 沙 庄 刘	日本	6,967	△11. 2%	5, 893	△15. 4%			
(ヒアルロン酸ナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	中国	9, 259	17.9%	6, 918	△25.3%			
		アジア	2, 194	15. 2%	2, 121	△3.3%			
ジクアス点眼液		合計 日本	14, 403 12, 283	△9.8% △13.8%	17, 935 13, 249	24. 5% 7. 9%			
(ジクアホソルナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	中国	717	328.6%	2, 782	288. 3%			
		アジア	1,404	△9.2%	1, 904	35.6%			
Ikervis(アイケルビス)		合計	4, 529	17. 6%	5, 553	22. 6%			
(シクロスポリン点眼液)	角結膜疾患治療剤	アジア EMEA	890 3, 638	20. 6% 16. 9%	1, 368 4, 184	53. 7% 15. 0%			
		合計	3, 062	5. 2%	3, 420	11. 7%			
Cationorm(カチオノーム)	角結膜疾患治療剤	アジア	256	△3.3%	337	31. 7%			
CatiOHOTH(β / β / - Δ)	月 和 厌 次 志 佰 塚 剤	EMEA	1, 969	△5.9%	2, 315	17.6%			
		米州合計	838	50. 9% 12. 3%	768 2, 058	△8.3%			
レンティス コンフォート	自内障治療用眼内レンズ	日本	1, 196	12. 3% 12. 3%	2, 058	72. 0% 72. 0%			
PRESERFLO MicroShunt(プリザーフロ マイク		合計	1, 196 892	230.0%	2, 058 1, 500	68.0%			
PRESERFLO Microsnunt(フリサーフロ マイクロシャント)	緑内障用デバイス	EMEA	892	230.0%	1, 440	61. 5%			
		合計	9, 410	△21. 8%	10,000	6. 3%			
一般用医薬品		日本	9,058	△22. 7%	9,700	7. 1%			
		アジア	352	12.7%	300	△14. 7%			

[※]上記の予想等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。通期予想については想定為替レートで換算して表示しています。なお、地域別は主要国地域を記載しています。

(2) 開発状況

2021年4月時点

■開発状況一覧表(臨床段階)

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェ-ズ1	フェ-ズ2	フェ-ズ3	申請	承認	発売
ジクアホソルナトリウム	STN1008903 / DE-089C	ドライアイ	Merck Sharp & Dohme Corp. (米 国)	日本						

角結膜上皮からムチンや水分の分泌を促すドライアイ治療剤。持続製剤。日本で、フェーズ3試験を終了。

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェ-ズ1 フェ-ズ2 フェ	ズ3 申請	承認	発売
				米国				
\$.EU/7	STN1010900	どいる時火	△ 払	日本				
シロリムス	/ DE-109	ぶどう膜炎	自社	欧州				
				アジア	4	2015年4月		

免疫抑制作用、血管新生抑制作用などを有する硝子体内注射剤。米国で、2018年12月に追加のフェーズ3試験を開始。 アジアで、2015年4月に販売承認を申請。

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェ-ズ1	フェ-ズ2	フェ-ズ3	申請	承認	発売
タフルプロスト/ チモロールマレイン酸 ^塩	STN1011101 / DE-111A	緑内障・高眼圧症	AGCと共同開発	中国						

プロスタグランジン F_2 α 誘導体および β 遮断剤の配合剤。2014年11月、日本で発売。2015年1月以降、欧州で順次発売。2016年4月以降、アジアで順次発売。中国で、2019年1月にフェーズ3 試験を開始。

	一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェ-ズ1	フェ-ズ1 フェ-ズ2 フェ-ズ3 申請				発売
Ī	I ~ ~ X	OTN/10/1700			米国	2020年11月					
	オミデネパグ イソプロピル	STN1011700 / DE-117	緑内障・高眼圧症	宇部興産と 共同開発	日本	Ž				2018	年11月
	1 7 7 1 2 70	/ DL 117		77 P4 P11 7G	アジア	2021年				年2月	

新規メカニズムのEP2受容体作動薬。米国で、2020年11月に販売承認を申請。日本で、2018年11月に発売。アジアでは 順次販売承認を申請しており、韓国で2021年2月に発売。

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェ-ズ1	フェ-ズ2	フェ-ズ3	申請	承認	発売
aanatanraat	STN1012600	緑内障・高眼圧症	小野薬品工業	米国						
sepetaprost	/ DE-126	旅門陣・同販/工/	小野楽加工耒	日本	(フェー	·ズ2b)				

FP受容体およびEP3受容体への作動作用(デュアル作動薬)を有する新規メカニズムのプロスタグランジン誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。米国で2020年12月に追加フェーズ2試験を開始。日本で、フェーズ2対験を完了。

アトロピン硫酸塩 STN1012700 / DE-127 近視 Singapore Health Services社、 南洋理工大学 アジア		一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェ-ズ1	フェ-ズ2	フェ-ズ3	申請	承認	発売
プ トロレン伽政塩 / DE-127 型悦 Services紅、 南注理工大学 アジア	7.	ロピン広転指	STN1012700	167日		日本	(フェース	(2/3)			
11111 (2.2.7.1)		ロレン伽酸塩	/ DE-127	LL THE	南洋理工大学	アジア						

小児における近視の進行を抑制するムスカリン受容体拮抗薬。日本で、2019年8月にフェーズ 2 / 3 試験を開始。アジアで、2020年4月にフェーズ 2 試験を終了。

_	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェ-ズ1 フェ-ズ2	フェ-ズ3 申請	承認	発売	
				米国		2020年6月			
 緑内障用デバイス ST	STN2000100	緑内障	ا به باد ا به باد	欧州	2019年 4				
林内陸用ナハイス	^{隊内陣用ナハイス} / DE-128		自社	アジア	2020年3月				
				その他		年3月			

原発開放隅角緑内障における眼圧下降を目的とし、房水の流出を促すインプラント手術用デバイス。米国で、2020年6月に市販前承認 (PMA) の段階的申請を完了、2021年2月末に米国食品医薬品局 (FDA) から審査に関するフィードバックを受け、以降協議を実施中。欧州にて2019年4月に発売。韓国で2020年3月に販売承認を申請以降、アジアで順次申請。カナダで、2021年3月に販売承認を取得。

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェ-ズ1	フェ-ズ2	フェ-ズ3	申請	承認	発売
ラタノプロスト	STN1013001 / DE-130A	緑内障・高眼圧症	自社	欧州						
737 7621	(Catioprost)	冰 1 中 一 同 取 八 加	日江	アジア						

プロスタグランジン $F_{2}\alpha$ 誘導体の緑内障・高眼圧症治療用乳化点眼剤。欧州およびアジアで、2019年4月にフェーズ3 試験を開始。

	開発コード		自社/導入等	地域	フェ-ズ1	フェ-ズ2	フェ-ズ3	申請	承認	発売
netarsudil dimesylate	STN1013900 /AR-13324	緑内障・高眼圧症	Aerie社	日本						
ROCK (Rhoキナーゼ)				で、202	 20年11月	月にフェ		試験を	開始。	

	1	
眼内レンズ MD-16 白内障 Oculentis社	生 日本	2020年1

白内障手術後無水晶体眼に挿入する、乱視用(トーリック)眼内レンズ。日本で、2020年11月に発売。

■2020年度第3四半期決算発表時(2021年2月4日)からの変更点

開発コード	変更点
STN1011700 / DE-117	アジアでは、韓国で2021年2月に発売。
STN2000100 / DE-128	カナダで、2021年3月に販売承認を取得。

開発コードの附番方法変更に伴い、新開発コード (STNXXXXXXX) および既存開発コード (DE-XXX) を併記しています。なお、AR-13324はAerie Pharmaceuticals, Inc.での開発コードです。

(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費ならびに研究開発費

■設備投資

(単位:百万円)

					2021年3月期	2022年3月期	
				通期実績	通期予想		
設	備	投	資	額	11, 281	30,000	

(注) 使用権資産の増加は除いています。

■減価償却費及び償却費

(単位:百万円)

					2021年3月期	2022年3月期
					通期実績	通期予想
総				額	4, 404	4,820
製	造		経	費	2, 267	2, 170
販	売	管	理	費	1,533	1,970
研	究	開	発	費	604	680

⁽注) 製品に係る無形資産償却費、長期前払費用の償却費および使用権資産の償却費は除いています。

■製品に係る無形資産償却費

(単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期
	通期実績	通期予想
総額	9, 920	8,900
メルク無形資産償却費	5,808	5, 740
D E - 1 2 8 * 無 形 資 産 償 却 費	2, 725	890
Ikervis(アイケルビス)無形資産償却費	701	710
そ の 他	687	1,560

^{*}STN2000100 (DE-128, PRESERFLO MicroShunt)

■研究開発費

(単位:百万円)

							· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
						2021年3月期	2022年3月期	
				通期実績 通期予想				
研	究	開	1	発	費	24, 112	26,000	
対	売	上	収	益	比	9.7%	10.0%	

(4) 主要通貨為替レート

(単位:円)

通貨	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 (予想)
USドル	108.81	105. 95	105.00
ユーロ	120.80	123.73	125.00
中国元	15. 64	15.61	16. 50

[※]上記業績予想は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。